

会 員 各 位	「圧縮コイルばねの時間強度線図 研究委員会」委員募集について	研 第 29 -0106
		2017 年 1 月 6 日
		日 本 ば ね 学 会

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年度(2017年度)発足する標記委員会の委員を募集いたしますので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 目的

「圧縮コイルばねの疲労限度線図の改訂調査研究委員会」(2010年～2015年)で、JIS B 2704-1「圧縮及び引張コイルばね基本計算方法」に掲載されている「疲れ強さ線図の例」の妥当性確認と新たな圧縮コイルばね用の疲労限度線図の構築を主な目的とした活動を行い、 10^7 回の疲労強度についてはJISの線図がかなり安全側になっていることを確認いたしました。しかし、 10^6 回、 10^5 回といった低い方の寿命につきましては、データ数が少なかったことから、統計的な解析を含めて、結論を得るまでには至りませんでした。また、(一社)日本ばね工業会からも、将来のJISの線図改定につなげられるように、データの追加取得の要望がきております。

以上の状況を鑑み、「圧縮コイルばねの疲労限度線図の改訂調査研究委員会」で十分には取得できなかった低い方の疲労データの追加取得とその統計的解析を行い、圧縮コイルばねの設計資料として利用できる時間強度線図の構築を主目的とする共同研究委員会を発足させることとなりました。本趣旨にご賛同いただき、ご参加いただける委員を募集致します。活動内容概略は以下のように計画しております。

- ・ 初年度 : 不足データの確認、試験計画立案および試験
- ・ 次年度 : 統計的解析を含めたデータのまとめ、時間強度線図の作成